



株主との対話の実施状況
(対象期間：2022年6月1日～2023年5月31日)

株式会社 三陽商会
2023年7月28日

株主との対話の実施状況

主に代表取締役社長をメインスピーカーとするIR・SR面談を年間延べ60回実施
営業黒字化を達成した具体的施策や中期経営計画の内容、ESGへの取り組み等を対話

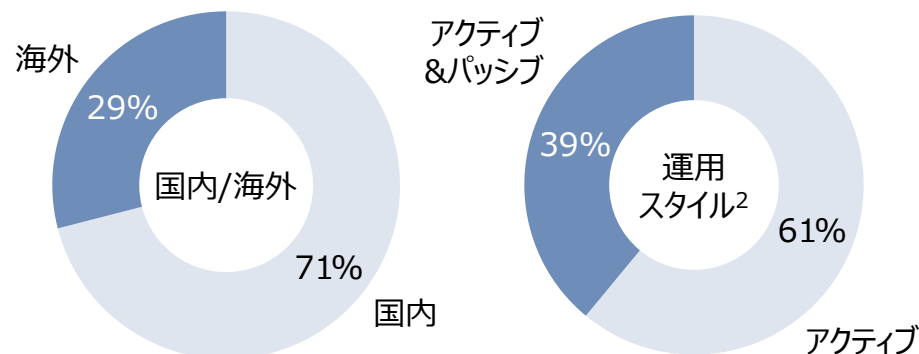
面談の状況

延べIR・SR面談数¹ **60回**

主な対応者

IR・SR面談	代表取締役社長 兼 社長執行役員 常務執行役員 経営統轄本部長 (サステナビリティ委員会委員長) IR部長
決算説明会	代表取締役社長 兼 社長執行役員 取締役 兼 専務執行役員 事業本部長 兼 マーケティング&デジタル戦略本部長
株主総会	全ての取締役及び監査役

面談した株主・機関投資家の概要



対話の主なテーマや株主の関心事項

- ・ コロナ沈静化による市場環境の変化
- ・ 当社のビジネスモデルと強み
- ・ 構造改革による業績改善と営業黒字化の達成
- ・ 中期経営計画と今後の成長戦略
- ・ ESGへの取り組み
 - マテリアリティの特定
 - GHG排出削減への取り組み、CSR調達、ダイバーシティ、従業員エンゲージメント
 - 取締役会の構成、サクセッションプラン

1. 決算説明会や株主総会を含む 2. 証券会社、事業法人等は除く

株主との対話の実施状況

取締役会に対する対話内容のフィードバックは適宜実施 今後の成長戦略/株主還元/株価対策等に関する議論、マテリアリティの特定等に成果

取締役会に対するフィードバックの実施状況

	頻度	報告方法	内容
株主・ 機関投資家 からの コメント等	年2回	取締役会/ 取締役説明会 における報告	第2四半期及び本決算発表後に実施する株主との対話におけるコメントや改善に向けたインプットを集約し報告
IR 状況報告	適宜	取締役会/ 取締役説明会 における報告 及びメール	IR戦略、重点施策、課題と対応策、株価/指標等の報告

対話の成果

対話で得たインプット	対応状況
今後の成長戦略の具体的内容の開示/説明に関する要望	次期中期経営計画において今後の成長戦略の具体的内容を記載すべく、準備を進めることを確認
株主還元/株価対策の強化に関する要望	株主還元方針は、業績進捗を見ながら、柔軟に修正することもあり得ることを確認 PBR改善計画の開示に向けた準備を推進
マテリアリティ特定の推奨	2023年2月期に4つのマテリアリティを特定し開示済み
従業員エンゲージメントに関する開示について、総合スコアの改善度合いのみならず、不足分野の掘入れ状況等の開示も希望	2024年3月の開示を目指し、現在人事部及びサステナビリティ委員会を中心に準備中



80TH ANNIVERSARY SANYO

免責事項

本資料は、株式会社三陽商会及び関係会社の財務情報・経営情報等の提供を目的としており、如何なる表明・保証を行うものでも無く、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う場合は、本資料の掲載内容に依拠した判断はお控え頂き、ご自身の判断により行って戴けますようお願い致します。

本資料掲載の情報は過去の事実以外に当社の将来の見通しを含み、諸処の社会的事情や経済的事情により変動する可能性があります。本資料の情報を使用されたことにより生じる如何なる損害についても当社が責任を負うものではありません。

本資料に掲載された将来の見通しについて、新たな情報や将来の事象に起因し修正し公表する義務を負いません。

本資料においては、当社が証券取引所などに開示している情報を全ては含んでおらず、開示内容と異なる表現を採用している場合もあります。掲載内容を予告無しに削除又は変更する場合があります。

本資料の掲載内容には細心の注意を払っておりますが、掲載内容に誤りが生じた場合や第三者によるデータの改竄、データダウンロードなどによって生じる障害などについて、当社は理由を問わず一切の責任を負いません。